

# はま Y O U

Vol.  
**37**  
2017.冬号



チェレステ・F・メルクルズによる院内クリスマスコンサートを開催しました

## CONTENTS

理念・基本方針	2
院長挨拶	2
政府主催災害医療訓練	3
診察室からのお話～乳腺外科のご紹介	4～5
冬の感染症予防について	6～7
新採用医師のご紹介	7
各部署から～通所リハビリテーションセンターに新しい機材を導入	8～9
第18回和歌山救急・災害医療研究会	9
秋祭りを開催	10
院内保育所より ～「敬老の日」と「ハロウィン」にかわいい訪問がありました～	11
管理栄養士のおすすめレシピ	11

● 白浜はまゆう病院 外来診療担当表

### 整形外科

診療日 / 月～金曜日 午前

受付時間 / 午前8時30分～11時30分 診療時間 / 午前9時00分～12時00分

担当 : 織田 一貴 医師 山田 修司 医師 岩切 健太郎 医師

### 循環器外来

診療日・受付時間 月曜日 午後2時00分～午後4時30分  
(予約制) 火曜日 午後1時00分～午後3時30分(第1・3)  
水曜日 午前8時30分～午前11時00分(第1・3・5)  
午後1時30分～午後4時00分(第1・3・5)  
午後2時00分～午後4時30分(第2・4)

担当 : 中村 信男 医師 阪越 信雄 医師 須原 均 医師

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず  
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



公益財団法人日本医療機能評価機構 認定施設複合病院(一般病棟1・リハビリテーション病院・慢性期病院) 機能種別版機能評価項目3rdG: Ver.1.1



NO SMOKING

敷地内 全面 禁煙

# 理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

# 基本方針

## 1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にされた医療とケアを提供します。

## 2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

## 3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

## 4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

## 5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

## 6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

## 7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。

あみだ  
あんしん。  
みんなが、  
だれでも、  
いつでも、



# 院長挨拶

白浜はまゆう病院 院長 谷口 友志



新年明けましておめでとうございます。

平素は白浜はまゆう病院に格別の御厚情を賜り誠にありがとうございます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今年は戌年。以下、南方熊楠著「十二支考」の「犬に関する民俗と伝説」か

ら抜粋抄訳。「神様が世界を作った時、一切の生物を召集してその寿命と暮らし方を定めた。一番に人を召し、汝人間は世界の王で、考慮と判断の力、言語を賦与し、世の中のものはすべて汝に支配され、汝の所用である、汝の命は三十歳と宣うた。人間これを承っていくら面白く威勢よく暮らしてもただ三十年では詰まらんと呟いた。続いて神様は驢馬、犬、猴を呼び、重い労苦を背負った一生を過ごすことを命じ、それぞれ五十歳、四十歳、六十歳の寿命を与えたが、そんな辛い思いを永らえるのは難儀極まると各々、二十年、二十年、三十年を返上した。欲深い人間はそれをすべて貰い受けて人寿百歳と決まった。かくして人間は万物の長として神様から賜った最初の三十年の間は何一つ苦勞なく面白く過ごすのが、後の七十年はそれぞれ驢馬、犬、猴の授かった労苦を背負って過ごすこととなった」という話。そして最後に「人がもし七十以上生き延ぶるときは、その背かがみ、その面変わり、その心曇り、小兒めきて兒女に笑われ、痴人に嘲らる。」。

これは1915年発行「ルーマニアの鳥獸譚」にある話で、その頃は平均寿命はせいぜい60歳前後(乳幼児死亡を除いた推計)であり、健康寿命との差はほとんどなかったと思われます。現在、わが国は七十五歳以上の方が約1,700万人、人口の14%を占める高齢化社会となり、平均寿命は伸びましたが健康寿命との差は約10年あります。神様から与えられた最後の30年の身体的精神的労苦を回避・克服するのをもまた人間に与えられた知恵に依ります。今年も皆様が健康に過ごせますようお手伝いできればと職員一同頑張っ参りたいと思いますので、昨年同様御指導御鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

# 政府主催大規模地震時医療活動訓練実施報告

総務課 布袋 仁也



毎年夏に政府主催大規模地震時医療活動訓練が開催されています。今年は7月29日に南海トラフ地震が発生し和歌山・三重・大阪・兵庫で大きな被害が出たという想定で行われました。県庁や保健所、市町村等の自治体、和医大を始めとする災害拠点病院や災害支援病院、消防等の機関が参加しました。



はまゆう病院の職員は二手に分かれ、院内にて多数傷病者および他府県から来た病院支援DMAT（災害医療派遣チーム）を受け入れる訓練と、白浜空港で臨時医療施設を開設・運営する訓練の2種類の訓練に従事しました。

他府県の支援DMATは、遠路はるばる岩手県から県立磐井病院と県立久慈病院の2チーム合計10名の隊員が来ていただきました。被災地内のマンパワーだけで多数傷病者に必

要な医療を提供することはできません。災害医療はまさに助け合いです。

院内訓練では支援DMATとともに災害対策本部を運営しつつ、多数傷病者の受け入れを行いました。本部においては衛星携帯電話で外部と通信を行い、被災状況をEMIS（広域災害救急医療システム）に入力し、ホワイトボードにクロノロジー（時系列記録）を記録していき、その記録からto doリストをピックアップして作戦を立てていくという標準的な訓練を行いました。トリアージ部門においても支援DMATとともに多数傷病者を受け入れ、優先度に応じて治療を行い、院内で対応できない患者については白浜空港の臨時医療施設へ搬送するという流れで進みました。

今回の訓練での初めての試みとして、トリアージ部門において受け入れた傷病者一覧表をインターネット上（Google drive）にアップし、本部と共有できるようにしました。これにより、リアルタイムに変化する傷病者情報が本部でも手に取るように分かり、院内全体のコントロールに非常に役に立ちました。

普段、当院では災害医療訓練となるとDMATだけが参加することが多いのですが、今回の訓練はDMAT以外の職員も多数参加しました。今回の訓練にあたり看護部の職員に対して災害医療の基本事項とトリアージの講習を3回に分けて行うことができ大変良かったと思います。

また、白浜空港に設置された臨時医療施設での訓練では、県内全体の組織体制の中で本部としての権限が与えられておらずスムーズに運営できなかったという課題はあったものの、搬送されてきた傷病者を全員適切な医療機関へ航空機・ヘリ・救急車にて搬送できたとのことです。

これからも、来るべき大規模災害に対し備えを強めていきたいと思えます。



# 診察室からのお話



～乳腺外科のご紹介～

乳腺外科部長 粉川 庸三

本年の4月から乳腺外科を開設してから半年以上が過ぎ、徐々に受診される患者さんも増えてきました。乳がん検診と乳がんの診断・治療の基礎知識として知って頂きたいことをここでいくつか紹介させていただきます。

## ● 検診と診療の違い

### 検診

最も重要な点は乳がん検診の対象は乳房にしこりや痛みなどの症状がない健康な女性だということです。症状があれば検診ではなく、乳腺外科を受診して適切な検査を受けて下さい。次の重要な点は「対策型検診」と「任意型検診」の2種類があるということです。

対策型検診とは公的資金を利用した公共政策として行われる市町村のがん検診のことです。要する費用は公的資金によって安く抑えられます。和歌山県内の多くの市町村は触診とマンモグラフィを併用した2年に1回の検診を導入しています。対象の方は市町村からクーポン券などが送られてきます。

一方、任意型検診は個人で申し込む人間ドックが代表的なもので、要する費用は自己負担となります。金額に応じてきめ細やかなサービスが提供され、最近では受診者の希望に応じて造影MRIや乳房PET検査を行っている施設もあります。そのような情報は雑誌やインターネットなどでも検索できます。

### 診療

診療はしこりがあるとか、痛みがあるなどのなんらかの症状を持っている方が対象です。そのような症状のない方は乳腺外科ではなく検診を受診して下さい。保険診療で行われるので、受診される際には保険証の提示が必要です。検診と異なって治療せねばならない病気を見落としはいけないというのが重要であり、ある程度の副作用や負担（針で組織を採取するときの痛みや出血など）を伴うことも許容されます。

乳腺外科は乳がんの診断と治療が主な目的です。対象は乳房にしこりや痛み、赤く腫れてきたなどの症状がある方、乳がん検診で要精査となった方、良性腫瘍でも経過観察が必要な方、そして乳がんの患者様です。検診で要精査とならなくても、しこりが気になるとか不安があれば、遠慮なく受診して下さい。他の施設で乳がんの治療中の方やセカンドオピニオンなども受け付けています。



## ●乳がん検診で要精査となったら？

### マンモグラフィ(乳房撮影)

皆さんご存知の乳房を挟んで薄くのぼして撮影する検査です。検診のフィルムやデータを持参されていない方や持参されたマンモグラフィが不鮮明である方には当院で再度マンモグラフィを行います。何度も撮影して被ばくが心配だと思われる方もおられますが、マンモグラフィの被ばく線量は決して高いものではありませんので安心して下さい。マンモグラフィでは腫瘍だけでなく、初期の乳がんの特徴である悪性石灰化(小さなカルシウムの沈着)も評価します。

### エコー検査(超音波検査)

ゼリーをつけて両側の乳房全体とわきのリンパ節を検査します。さらに検診で指摘されたところを重点的に観察します。一般的に良性腫瘍は周囲が滑らかで内部も均一なしこりとして見え、乳がんは周囲がギザギザした黒いしこりとして見えます。さらにしこりに流入する血管やしこりの硬さなどを評価し、組織検査を追加すべきか否かを判断します。

### 針生検

マンモグラフィやエコー検査で悪性が疑われたしこりに対し、針を刺して組織を採取する検査です。できる限り痛みがないようにしっかり局所麻酔を行います。エコーで針先を確認しながら腫瘍を穿刺し、組織を採取します。診断をより確実にするために数本採取します。採取した組織はホルマリン瓶に入れて、病理診断に提出し、1～2週間後に結果が届きます。

ちなみに検診では約10%の方が要精査となります。要精査の方から乳がんと診断されるのは約2%です。つまり要精査となって泣き顔で受診される方の50人中49人は笑顔で帰られます。残りの1人においても検診で発見された乳がんの多くは早期乳がんです。

## ●乳がんと診断されたら？

驚きと不安で前が見えなくなり、たくさんの方が一度にのしかかってきて押しつぶされそうになると思います。まずは落ち着いて、周りを見渡して下さい。あなたの周囲には家族、友人、そして私たち白浜はまゆう病院のチームがいます。なんとかあなたの力になろうとする熱意を持った看護師、薬剤師、放射線技師など多くの人たちがいます。さらに医療費や就労支援の相談にも応じてくれる事務の人たちもいます。私たち白浜はまゆう病院みんなが協力して、あなたやあなたの家族を支えますので安心して下さい。



# 冬の感染症予防について

感染対策委員長 木村 泰典(泌尿器科医長)

感染症予防と聞いて思い浮かべることって何でしょうか？手洗い、うがい、消毒・・・など、様々なことが思い浮かぶことでしょう。ここで、もう一度感染症対策についての知識を整理しておきましょう。

感染症対策の第一の基本は「標準予防策」です。誰しも、どんなウイルスが潜んでいるかもしれない血液に、素手で直接触れることは直感的に危ないと思われると思いますが、体液や人間の体から出される分泌物、排泄物には、全て感染性が潜んでいるとして直接触れないようにする、というのが「標準予防策」という感染対策の原則です。そして、その次に大切なことは、感染が成立しないようにするのに有効な方法を予め知っておくことです。

例えば、今ノロウイルスが流行している時期だとしましょう。大勢の人が集まるショッピングモールで、急にトイレに行きたくなって用を足しました。トイレのレバー、便座、床など・・・目には見えませんが、こんな時にはノロウイルスは付着しているかもしれませんね。しかし、手指にノロウイルスが付着しただけでは、胃腸炎は発症しません。感染の成立には、感染の元になる「感染源」があって、次にその病原菌を伝える「感染経路」というのがあって、最後に病原菌が住み着く「宿主」があります。感染が成立しないようにするためには、この3つのどれかを、制御すればいいのですが、どれが一番よいと考えられるでしょうか。

正解は、「感染経路」を制御することです。ノロウイルスの場合でも、手に付いたとしても、手洗いでしっかり洗い流せば感染は成立しません。自らの意志で宿主側の免疫力を向上させて感染を成立させないようにするというのも相当無理がある話ですし、また、一番目の感染源の制御についても、環境の清掃をしっかりと行うことで、感染のリスクを下げることはできますが、外の環境を完全に無菌にしてみようということは、現実問題不可能です。従って、感染対策で最も重要なことは「感染経路を遮断すること」に尽きます。

さて、皆さんはインフルエンザの「感染経路」はご存知ですか。それは飛沫感染と接触感染です。飛沫とは、咳やくしゃみ、あるいは、しゃべっているときに口から撒き散らされる5 $\mu$ m以上の粒子で、飛沫というのは、水分を多く含んでいますので、1mほどしか飛びません。そして、それより小さな5 $\mu$ m未満の粒子は飛沫核といいまして、これは空中に浮遊している粉塵のようなものをイメージしていただくといのですが、これにウイルスや菌が付着しているとされます。

飛沫核での感染は空気感染といいますが、この空気感染が成立するような病気というのは、主に3つしかなくて、結核や麻疹(はしか)、水痘(水ぼうそう)くらいなのです。従って、インフルエンザの飛沫感染は、粒子が大きいので、直接飛沫を浴びないよう、1.5m以上距離をとったり、マスクを装着することで十分に防ぐことができます。飛沫の撒き散らしを防ぐという意味で、インフルエンザに限らず、咳をしている全ての人には、マスク着用を促すようお互いに声をかけ合うようにしましょう。

次に接触感染についてですが、例えば、インフルエンザを発症している患者様が、テーブルの上で咳をしたとします。テーブルは咳で汚染されるわけですが、大まかに言うと、インフルエンザウイルスは環境中で48時間は感染力を持ったまま生きていられるとされているので、このテーブルを手で触り、その汚染された手で、無意識のうちに目をこすったり、鼻を触ったり、口を触ったりすると、感染するかもしれません。対策としては、石鹸+流水で手洗いをするか、最近ではスーパーマーケットの入り口にも設置されるようになってきていますが、速乾性擦式アルコール製剤を手で擦り込むことが有効です。アルコールや石鹸は、脂溶性（脂質を溶かす作用）でウイルスの外を覆っている殻を破壊してくれます。インフルエンザウイルスはRNAという一本鎖の核酸を持つ弱いウイルスですので、外側を覆っている殻さえ破壊してやれば、容易に失活します。

ノロウイルスの場合でも感染経路は接触感染ですから、流水と石鹸を使った手洗いを遵守して、嘔吐物や便を処理する場合にはマスクや手袋をして直接触れないように、感染経路を遮断すべく予防策をとればよいのです。

さて、ここまでで皆さんは「感染経路の遮断」の意識は高まりましたでしょうか？そしてその感染経路の遮断には、まず何より手洗いが最も簡単で、最も効果的です。当院では感染対策のスローガンとして「洗手必勝」を掲げていますが、それは「先に手洗いを励行すれば、感染対策に必ず勝利する」という意味で、これは入院患者様に限らず、お見舞いに来院される方にもご協力をお願いしていることです。皆さんも積極的に感染経路を遮断する予防策を励行し、寒い冬の時期を健やかに過ごせるようにしましょう。

## 新採用医師のご紹介

やま だ しゅうじ  
山田 修司 医師 | 整形外科

### プロフィール

2015年3月 山梨大学医学部医学科卒業  
2015年4月 松阪市民病院初期研修開始  
2017年4月 馬場記念病院整形外科勤務



この10月より白浜はまゆう病院に勤務しております、整形外科の山田修司と申します。

三重の松阪市民病院にて2年間の初期研修を終了し今年9月まで馬場記念病院にて勤務していました。こちらへ来てから早くも2か月経ちだいたい周りの環境にも慣れてきました。周りの医師やスタッフと様々な症例について検討したりまた患者様の疾患に関する色々な悩みについて相談に乗ったりと充実した日々を過ごしております。

日常診察では一般整形外科として外傷、手術の他、「腰が痛い」「肩が痛い」などの整形外科領域における訴えに関しても担当させて頂いております。

今後小池整形外科部長の元、地域医療に貢献できるよう精進致しますのでよろしくお願い致します。どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。

# 各部署から

～通所リハビリテーションセンターに新しい機材を導入しました～



通所リハビリテーションセンター  
係長介護福祉士 吉田 貴方  
理学療法士 宮尾 康平

通所リハビリテーションセンターは、2017年4月1日から南館1階で、白浜町社会福祉協議会が運営していたデイサービスセンターはまゆうを引き継ぐ形で開設しました。

通所リハビリテーションセンターでは、医師1名、理学療法士3名、言語聴覚士1名、看護師2名、介

護士6名の計13名体制で、リハビリテーションや、ご自宅からの送迎や健康チェック、入浴や排泄、食事の提供等のサービスを提供しています。

2017年8月には開設時より念願であったトレーニングマシンを5台導入し、パワーリハビリテーションを開始しました。

パワーリハビリテーション（パワリハ）とは、老化や器質的障害により低下した身体的・心理的活動性を回復させ、自立性の向上と質の高い生活への復帰を目指すリハビリテーションの手法です。「パワー」と聞くと、すごくしんどい運動をイメージされる方がいらっしゃるかもしれませんが、実はそうではありません。心臓にかかる負担は入浴より軽く、非常に少ないリスクで運動ができます。全身各部の使っていない筋を動かし、動作性・体力の改善、心理的活動性の改善が得られます。

当施設でパワリハを実施している利用者様33名（男性16名、女性17名、平均年齢82.6歳）を対象とし、パワリハを始めてから1ヶ月後の足を伸ばす筋力を測定しました。その結果、筋力が維持・向上した方は約88%となりました。「運動してから歩くのが軽くなった」「リハビリに来るのが楽しみになった」「浴そうの出入りが自分で出来るようになった」という利用者様の声が聞かれました。

当施設で導入したトレーニングマシンは、以下の通りです。

## ①レッグエクステンション

膝関節の可動域改善や、歩幅が広がる、膝が安定し階段の上り下りがスムーズになります。【大腿四頭筋】



## ②レッグプレス

下肢筋全般の筋肉を強化し、立ち上がる、座る、しゃがむ、歩く等の動作、日常生活に必要な筋力を強化します。【大腿四頭筋・大臀筋・ハムストリングス・下腿三頭筋】



### ③ローイング

高齢者特有の円背（猫背）を予防・改善します。【広背筋・三角筋・菱形筋・脊柱起立筋・僧帽筋】



### ④トーンフレックス

起立・着席動作、起き上がり動作を改善します。【腹筋群】



### ⑤チェストプレス

身体を支える動作、肩関節・胸郭の可動性と安定性を改善します。【三角筋前部・前鋸筋・上腕三頭筋・大胸筋】

※【 】内は、強化目的の筋肉



## 第18回和歌山救急・災害医療研究会を開催しました

総務課 布袋 仁也



10月28日（土）、和歌山県内の救急医療・災害医療に従事するさまざまな機関のあらゆる職種の方々が一堂に会する、和歌山救急・災害医療研究会が白浜町立総合体育館にて開催されました。研究会の世話人は当院の谷口院長が務めました。

一般演題の演者のみなさまからは30題もの演題を発表いただき、特別講演としては日本集団災害医学会セミナー委員長・ひがしおかメディケアクリニック院長の東岡宏明先生、毎日新聞大阪本社編集委員の関野正先生をお招きしご講演いただきました。当日は台風22号の影響であいにくの天候でしたが、136名の方にご参加いただき、無事に終えることができました。

災害医療においては「顔の見える関係」という言葉がよく出てきます。今回ご参加いただいたみなさまとは、お互い「笑顔の見える関係」の間柄となりますよう、今後も親睦と研鑽を深めていきたいと存じます。

加藤教授をはじめ座長を務めてくださった先生方、演者・講師のみなさまありがとうございました。

## 秋祭りを開催しました

レクリエーション副委員長(本館3階病棟)  
介護福祉士 玉置政行



今年の秋祭りは、台風の影響により病棟での開催となりました。

風が強く、雨が降るなか、数多くの家族さんや近隣の方々に足を運んでいただきました。

普段であれば、病棟で子どもを見かけることは多くありませんが、秋祭りのこの日は子どもさん達が多数で、私が担当したスーパーボールすくいの屋台前には、子ども達でいっぱいになり、「やったあ、ミニオンや」「いっぱい取れた」と、元気な声

が病棟を活気づけてくれました。

イベントには、ブラスバンドのブランキーベアーズさんに、今回初めて演奏していただくことができました。会場であるデイケアセンターは満員となり美しく迫力のあるブラスバンドの演奏を聴いた患者さんからは「きのう手術を終えた、今日このような盛大なお祭りに参加させてもらえて、ほんとうに良かったです。」と言葉をいただきました。

レクリエーション委員会主導で一年計画を考えてきた成果だと感じる事ができた瞬間でした。

今後も、みなさんに楽しんでいただける秋まつりの計画を話し合っていきます。





## ～『敬老の日』と『ハロウィン』に かわいい訪問がありました～

9月13日(水)敬老の日と10月13日(金)ハロウィンにちなみ院内保育所の園児たちがお年寄りの入院患者様に素敵なプレゼントをしてくれました!

子供たちは通所リハビリテーションや6病棟全て回りました。可愛らしい子供たちの姿を見て、入院患者様にはとても楽しんで頂けたのではないかと考えています。

これからも患者様と園児がふれあう機会を作り、患者様が癒しのひと時を過ごして頂けるようにしていきたいと思います。今回の企画を立案・実行していただいた保育士の先生方、どうもありがとうございました。

# 私たちが おすすめする カラダにいい とっておきレシピ 第29回

## ～豆乳石狩汁～

寒い日が続いています。温かいお汁を飲んで温まりましょう。

味噌だけではなく豆乳を加える事により、仕上がりがまるやかになります。

豆乳でなく牛乳にするとカルシウムを増やすこともでき違った味を楽しめます。

食養科 管理栄養士

古井 啓詞



## 豆乳石狩汁



### 作り方

- ①大根、にんじんはいちょう切りにする。
- ②エリンギは1×3cmくらいのおおきに切る。ねぎは小口切りにしておく。
- ③鮭は一口大に切っておく。
- ④①をだし汁で煮て、やわらかくなったら鮭を入れる。
- ⑤鮭に火が通ったら、豆乳とエリンギを入れる。
- ⑥沸騰する直前に、白味噌をいれる。
- ⑦ネギをちらし完成。

### 材料(1人分)

鮭…………… 30g  
大根…………… 30g  
人参…………… 10g  
エリンギ…………… 10g  
ネギ…………… 5g

### 調味料(1人分)

出汁…………… 100g  
豆乳…………… 50g  
白味噌…………… 10g

### 栄養価(1人分)

エネルギー… 98kcal  
蛋白質…………… 10.2g  
脂質…………… 2.5g  
塩分…………… 0.7g  
食物繊維…………… 1.9g

# 白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	内科1(予約外)	午前	伊藤 揚荘	松本 潤	伊藤 揚荘	荒居 琢磨	赤松 功博	高村 竜一郎
		午後	(当番の間、休診)					
	内科2(予約制)	午前	谷口(岡)		松尾 晃次	松尾 晃次		
		午後	中村 信男					
	内科3(予約制)	午前						
		午後	山下 泰伸	阪越/須原		山崎 幸茂		
	内科4(予約制)	午前			赤松 功博	谷口 友志		
		午後	松本 潤	木下 正博		中川 武正		
	内科5(予約制)	午前	荒居 琢磨	伊藤 揚荘	谷口 友志	伊藤 揚荘		
		午後	國部(禁煙外来)	赤松 功博	谷口 友志	松本 潤	谷口 友志	
外科		午前	宮前 真人	宮前 真人	荒居 琢磨	宮前 真人	岸本 拓磨	当番医
脳神経外科		午前				中村 善也		
		午後				中北(予約)		
整形外科		午前	織田 一貴	織田 一貴	山田 修司	織田 一貴	岩切 健太郎	
装具外来		午前		装具外来		装具外来		
小児科		午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	
		午後	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	
婦人科		午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也			
		午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	
乳腺外科		午前	粉川 庸三	粉川 庸三		粉川 庸三	粉川 庸三	
皮膚科		午前					県立医大	
		午後		県立医大				
眼科		午後		井上/井上		井村 良子		
耳鼻咽喉科		午後				県立医大		
循環器外来(予約制)		午前			中村(第1・3・5)			
		午後	中村 信男	阪越/須原	中村 信男			
呼吸器外来(予約制)		午前			松尾 晃次	松尾 晃次		
アレルギー・呼吸器専門外来(予約制)		午後				中川 武正		
泌尿器科		午前	木村 泰典	木村 泰典	川嶋 秀紀	木村 泰典	木村 泰典	当番医
		午後	川嶋 秀紀		木村 泰典			
泌尿器科専門外来		午後		川嶋 秀紀			川嶋 秀紀	
神経内科(予約制)		午前	小口 健	廣西 昌也			中崎 繁明	
		午後		石口 宏		小口 健		
通院リハビリテーション外来		午前	松尾 晃次	谷口 友志	小口 健	研修医	大井 亜希	
		午後	小口 健	谷口 友志	大井 亜希	赤松 功博	松尾 晃次	
リウマチ外来(予約制)		午前		小池 達也	小池 達也	小池 達也		
膠原病・糖尿病専門外来(予約制)		午前		伊藤 揚荘		伊藤 揚荘		
消化器専門外来(予約制)		午前	谷口/荒居		谷口 友志	谷口 友志		
		午後	山下 泰伸		谷口 友志		谷口 友志	
循環器・高血圧専門外来(予約制)		午前					担当医(月2回)	

※火曜日午後 内科3診/循環器外来…第1(阪越 信雄)/第3(須原 等) ※水曜午後 眼科…第1・3・5(井上 晃宏)/第2・4(井上 貴久彦)  
 ※診療担当医が変更になる場合がございます。ご了承下さい。 予約外は先着5名までとさせていただきます。 2017.12.1~

受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日祝
午前(月~土)	8:30~11:30	9:00~12:00
午後(月~金)	13:30~16:30	14:00~17:00
循環器外来(月 第2・4水)	14:00~16:30	14:30~17:00
循環器外来 第1・3・5(水)	8:30~11:00	9:00~11:30
循環器外来(火)	13:30~16:00	14:00~16:30
皮膚科(火)	13:00~15:30	13:30~15:30
眼科(水)	13:30~15:30	13:30~16:00
耳鼻咽喉科(木)	14:00~16:30	14:00~16:30
循環器・高血圧専門外来(土)	8:30~11:00	9:00~12:00

※診療時間外(夜間・休日)に  
 具合が悪くなったときは、  
 日時に関係なく受付します  
 ので、白浜はまゆう病院へ  
 電話でご連絡ください。



## 公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 井潤 誠 ●院長 谷口 友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】info@hamayu-hp.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

■西 富 田 ク リ ニ ッ ク	〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地	TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678
■鮎 川 診 療 所	〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3	TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005
■日 置 診 療 所	〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1	TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192
■三 舞 診 療 所	〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地	TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001
■川 添 診 療 所	〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地	TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037
■訪問看護ステーションたんぽぽ	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682